

私の遺言

なりません。

私がまさかボケることはないと思われるかもしれませんが、先のごことは私にも分かりません。

ほかの人が言うことを嫌がっても、その人なら聞くとうします。笑顔が好きだからです。

万一のときのために、家族や、私の介護にあたってくださいる人へ次のようなことを今からお願しておきたいと思えます。

私の頭の中はモヤーツとしていまず。だから、とても不安でいっぱいなのです。

私が医者だったことを、まず忘れてください。私は過去とは別の人間になつてしまったのです。

夜は正直、何か出てきそうで、とても怖いのです。そのために、騒ぐときがあるかもしれません。

「しっかりして！」と大きな声で怒鳴られても、ただ恐ろしいのでおびえるだけです。

そんなときもしからないうで、優しく肩を抱いてください。

ですから、私に何か言いたいことがあれば、笑顔で優しく、簡単に話してくださいね。

私の心が寂しいとき、私が若いころに大好きだった曲を聞かせてください。どんなに知性が破壊されていても、その分、感性だけは豊かなのですから。

きつと私は変なことを言うと思います。例えば「蛇がいる」と言ったら、「じゃあ、追い払いましようね」と、私の要求をまず受け入れてください。「ごほん、まだか」と言ったら、「おなかがあいたのね」と優しくクツキー一枚くれれば満足です。

それから、私は何をやってもすぐに忘れる病気の人だと思ってください。もちろん、目の前の人が誰なのかも分かりません。

ただ、その人が私の目をしっかりと見て、優しい声で話しかけてくれたら、きつとその人が大好きになります。



高齢者の体シリーズ⑩ 『尿の出が悪く！』

副院長 八鍬秀之

高齢者の男性は加齢にともない、徐々に尿の出が悪くなつてきます。尿の勢いが弱くなり、排尿に時間がかかり、スッキリと尿が出た感じがしない等、よく耳にします。これは尿道の出口にある前立腺の肥大や癌にみられる典型的な症状です。また高齢者では沢山の薬を服用している場合があり、薬の副作用の可能性もあり注意が必要です。

前立腺肥大の初期症状は夜間の頻尿です。夜間に何度も排尿に行き良く眠れなくなり、排尿困難はまだ軽く、残尿感もあります。進行すると残尿感が出現し、残尿のため日中でも頻繁に排尿に行くこととなります。排尿困難もひどくなり、また尿失禁もみられるようになります。さらに進行すると尿が出なくなり膀胱が張つて下腹部が苦しくなり、尿が出ないために腎臓の機能も低下してしまいます。

軽症の方は薬物療法が有効です。前立腺部の尿道を拡張させる薬で症状が改善します。またある程度肥大が進行した場合には、内視鏡により前立腺を切除する手術療法が必要となります。

ただし前立腺癌でも同じような症状がみられるので注意が必要です。血液検査でも前立腺癌がある程度予測できます。一般の健康診断でも行われています。

以上のような排尿障害のある場合は、念のため早めに泌尿器科を受診されることをお勧めします。簡単な血液検査や超音波検査で診断が可能です。

